

八起会の解散と、新八起会の発足に関して

一、はじめに

平成 29 年 7 月 8 日の総会において、八起会の 40 周年後についての採決をさせていただきました。

総会に先立ち、往復はがきのアンケートにより、「八起会は解散すべきか、継続すべきか」という問いに対し、解散・継続の数は、ほぼ同数となりました。

この結果を踏まえ、総会において代表世話人である竹花より「40 周年を持って一旦解散し、その後、八起会の名前と資産を受け継ぎ、継続希望の会員を中心に新しい組織体制で運営する。」との提案をさせていただきました。

この提案に対し、総会参加者に挙手をもって賛否を問い、賛成多数を持って可決されました。

二、八起会の解散について

本日の 40 周年記念式典を、誰よりも待ち望んでおられたのは、他ならぬ野口会長ご自身です。

会長が永眠される二日前、病院にお見舞いさせていただいたときの出来事です。

会長は既に言葉を発する力もなく、見舞いに訪れた 5 人を前に、ただただ涙を流されていました。

そして、不意に右手を上げ、指を四本立てられました。

私たちが理解できずにいると、かすれた声でたった一言、振り絞るようにおっしゃられたのです。

「40 周年・・・」。

「40 周年までには元気になる」と言われたかったのか、

「40 周年を頼む」と言われたかったのか、残念ながら明確にはわかりませんでした。

しかし、私は会長もご自身の命の尽きることを、悟られていたのではないかと思います。

40 周年記念式典の開催は「野口会長の唯一の遺言」と感じました。

本日、皆様のお力添えをもって、ここに 40 周年記念式典を開催することができました。

皆様と共に、野口会長の遺言を果たせたことを、心より感謝申し上げます。

野口会長の遺言を果たせた本日、ここに八起会の解散を宣言いたします。

三、新八起会の発足について

八起会が解散した本日は、新八起会の発足日ともなります。

「40周年を持って一旦解散し、その後、八起会の名前と資産を受け継ぎ、継続希望の会員を中心に新しい組織体制で運営する。」との決定に基づき、新八起会の発足に関して、説明させていただきます。

まず、資産の継承についてです。

八起会の昨年度繰越金は約100万円、本40周年記念式典に20万円ほど使用しますので、80万円程度が資産として残る予定です。

この資産を有効に活用させていただくための今後の方針は、以下の通りです。

1. 野口会長の教えを後世に遺してゆく。
2. 今後もなくなることはない倒産者の「心の支え」となる。
3. 倒産防止のため、経営者の「転ばぬ先の杖」となる。

この方針を実現するため、以下の活動を行います。(同時に予算も提示します)

1. 毎年2月の第三土曜日に、八起会OBを含めての野口会長のお墓参り。
野口会長を語り、互いの近況を語りあう親睦の場とし、40周年後の最重要イベントと位置付けます。
予算は、お布施や会場代などで5万円程度。残りは会費で賄います。(来年は2/16)
2. 毎月の月例会を継続する。
毎月第三土曜日に、野口会長の教えを学び、体験談を語りあう勉強会を行います。
必要に応じて、その場で倒産者や経営者の相談会を行います。
世話人の持ち回りで運営される予定で、10名以上集まれば予算は会費のみで賄えます。
相談に関して、経理的な問題は小松先生、法律的な問題は松井先生にご協力いただく予定です。
今後の予定は、8/18, 9/15, 10/20, 11/17, 12/15, 1/19, 2/16, 3/16, 4/20, 5/18, 6/15 となります。
3. 倒産110番を復活する。
すでに経営相談は何件も受けておりますが、今後、緊急性が必要な場合に限り、電話にての経営相談を受け付けます。当面は、堅谷さんにご担当いただく予定です。
4. 毎年7月8日の前後に、外部の方々を対象にした周年ごとの記念セミナー
来年以降、八起会の存在を世に広める場として、内外の倒産経験者の講演を中心にした記念セミナーの開催を考慮しています。予算は3~5万円程度、大半を会費で賄う予定です。

5. **野口会長の教えと八起会を、HP を通じて語り継ぐ。**

HP を進化させ、八起会の歴史、野口会長の教え、倒産に関するの情報などの発信を行います。
予算なしで、活動費用は必要としません。

6. **決算を5月末から12月末に変更**

総会の開催を、お墓参りを行う2月第三土曜日に変更し、活動の報告をOB含めて行うためです。
また、決算の詳細情報も会員HPに掲載し、会員の皆様にオープンに情報開示いたします。

7. **ハガキは、年に2回とする**

年間予定が決まっておりますので、今後、ハガキを出すのは年に6月と12月の二回のみとします。
ハガキを出す負担を減らすと同時に予算を削減し、年間6000円程度に抑える予定です。
(活動予定の詳細は、HPをご確認いただく形となります)

以上、年間に必要な予算は、合計で8~10万円程度と見込んでいます。

ボランティアの会としての立ち位置を大切に、利益を得ることを目的とせず、残された資産を有効に活用させていただきます。

最後に、この活動を実現するための人事体制は、以下の予定です。(敬称略・順不同)

1. 代表世話人・竹花利明
2. 世話人・鏡智史、那須野亨、加藤正寛、河澄哲、神谷光昭、中島正喜、中西敏夫、高森淳、峯岸弘行
3. 顧問・梅崎猛彦、小松隆雄、松井茂樹

※ 方針・活動・人事は、新体制後の状況に応じて変更されることがございます。

新体制の八起会は、野口会長への深い感謝の思いから、恩返しさせていただく心で活動します。

野口会長の教えを元に「たった一人でよいから、経営者や倒産者の救いになること」を目的に、小さな社会貢献として実践してゆく所存です。

以上、皆様ご協力のほど、よろしく願いいたします。

平成30年7月8日
八起会 代表世話人 竹花利明